

授業科目名	【G】	憲法概論	区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2	
	【H】	憲法概論			【H】1		【H】2	
	【I】	憲法概論	必修		【I】1		【I】2	
科目区分	専門科目:教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目(全教科)							
授業形態	対面開講							
担当形態	単独	【G】 教員の免許状取得のための(全教科必修)科目 【H】 教員の免許状取得のための(全教科必修)科目 【I】 教員の免許状取得のための(全教科必修)科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目「憲法」							
サブタイトル	日本国憲法の基礎を修得する				担当者	小林 伸一 大塚 翔吾		
授業概要	【概要】	日本国憲法上の基本的人権法、統治機構法を概説する。						
	【到達目標】	日本国憲法を構成する基礎概念、基礎理論を受講者全員が把握し、これを応用できる段階に到達する。						
履修条件	高校時の社会科で学んだ政治や経済に関する事柄を復習することが望ましい。また、日本国憲法の全条文を予め通読していることが望ましい。							
アクティブラーニングの方法	【-】	事前学習型	【-】	反転授業	【-】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【-】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【-】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との関連性	本講義と同時に開講される「法学入門」では、法律学における基礎概念や基礎理論が解説される。そのため本講義の担当者も、「法学入門」の講義内容や進度を意識しながら講義を進めることになる。							
教科書	芦部信喜著・高橋和之補訂『憲法 第八版』(2023年 岩波書店)							
参考書	宍戸常寿・巻美矢記・安西文雄著『憲法学読本 第4版』(有斐閣 2024年)、2026年度版の六法 必要に応じて、講義レジュメ(指定教科書の記述と講述内容とをまとめたもの)をgoogle classroomに配信する。							
評価方法	本試験として、2回にわたる課題を本講のgoogle classroomに提示し、その成績を基に各受講生の評価を決定する。課題の1回目は5月最終週、2回目は7月第1週に提示する。							
フィードバック方法	講述内容に対し質問や意見がある場合は、本講のgoogle classroom上のメールで投稿すること。取捨選択したうえで回答する。							
評価基準	本講の趣旨・内容につき、これを十分に把握し、そのことが課題に対する解答文に顕著に反映されていると判断できる受講生は、「S」または「A」とする。講義内容の理解が必ずしも十分とはいえず、しかも解答上の表現が的確とはいえない受講生は、その程度に応じて「B」または「C」とする。講義内容に対する理解が明らかに不十分で、しかもそのことが解答内容・表現に如実に表れている受講生は、その程度に応じて「D」または「E」とする。正当な理由なく課題の解答をしなかった受講生は、「F」とする。							

授 業 科目名	【G】	憲法概論	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
	【H】	憲法概論	必 修		【H】1		【H】2
科目名	【I】	憲法概論			【I】1		【I】2
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス 憲法の意義 日本国憲法の原理その1 国民主権主義						
	予習:	4頁～7頁 35頁～53頁	復習:	国民主権主義 象徴天皇制			
2	日本国憲法の原理その2 平和主義 基本的人権尊重主義						
	予習:	54頁～81頁	復習:	平和主義 基本的人権尊重主義			
3	基本的人権の特質と内容						
	予習:	82頁～87頁	復習:	固有性 不可侵性 普遍性 永久性			
4	基本的人権の限界						
	予習:	101頁～109頁	復習:	公共の福祉 一元的内在制約説			
5	幸福追求権						
	予習:	122頁～134頁	復習:	人格的生存説 プライバシー権 自己決定権			
6	法の下での平等						
	予習:	134頁～149頁	復習:	法内容平等説 相対的平等 合理的区別			
7	精神的自由その1(思想・良心の自由 信教の自由)						
	予習:	160頁～188頁	復習:	思想・良心の自由 信教の自由 政教分離原則 目的効果基準			
8	精神的自由その2(表現の自由)						
	予習:	189頁～232頁	復習:	表現の自由の具体的内容 二重の基準論			
9	経済的自由 社会権						
	予習:	245頁～259頁 290頁～304頁	復習:	規制目的二分論 抽象的権利説			
10	人身の自由 国務請求権 参政権						
	予習:	264頁～289頁	復習:	適正手続原則 裁判を受ける権利 選挙・被選挙権			
11	国会の地位 国会の権能 国会の活動						
	予習:	316頁～346頁	復習:	政治的美称説 実質的意味の法律 会議の原則 国政調査権			
12	内閣 議院内閣制						
	予習:	347頁～360頁	復習:	行政控除説 内閣の国会に対する連帯責任 衆議院の解散			
13	裁判所						
	予習:	361頁～385頁	復習:	法律上の争訟 統治行為 司法権の独立			
14	違憲立法審査制						
	予習:	403頁～418頁	復習:	付随的違憲立法審査 抽象的違憲立法審査 憲法判断回避の準則			
15	財政 地方自治						
	予習:	386頁～399頁	復習:	租税法律主義 予算法形式説 地方自治の本旨 条例制定権			
その他	<p>課題の提示、課題に対する解答文の投稿、講義ノート配信のいずれも、google classroom上で行います。そのためこれらに対応できるようインターネット環境を整える必要があります。また、予習・復習は、各120分程度を目安としてください。</p> <p>生成AIによる生成物をそのまま課題に対する解答文として提出することは認めません。ただし、考えをまとめたりアイデアを出す活動の途中段階で、自分自身でアイデアや考えを出した上で、足りない視点を見つけ分析・考察を深める目的で活用することは問題ありません。</p>						

